

# 価格高騰についての意識調査 ～値上げをしても飲食店への印象は変わらず～



調査期間：2022年4月14日～4月18日

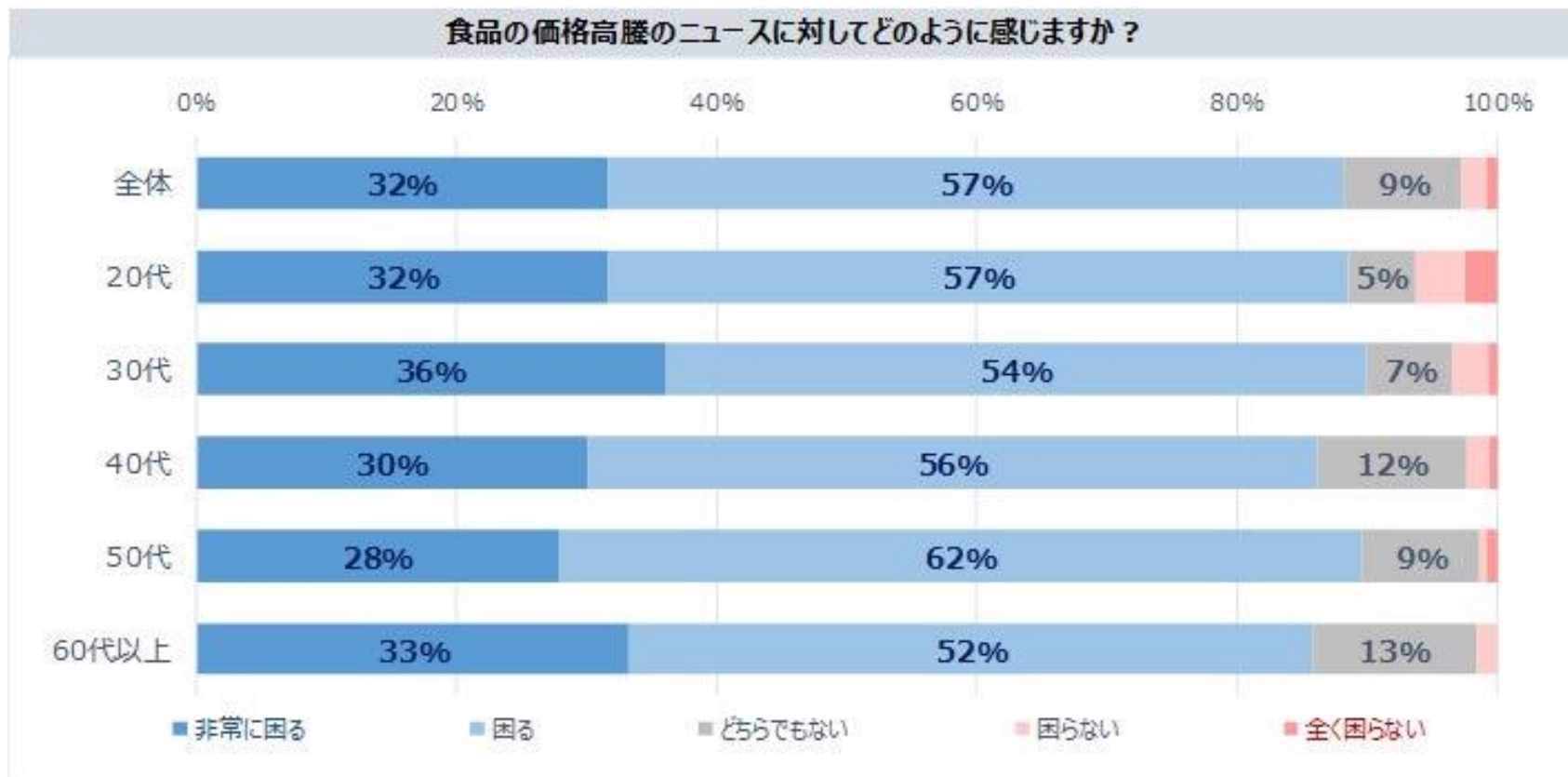
有効回答者数	1,000名（男性=334／女性=666）
--------	-----------------------

## 【調査結果サマリー】

- 1.食品の価格高騰「困る」が 90%
- 2.価格の高騰を感じている人が87 %。感じるシーンは「値段を店で見たとき」
- 3.飲食店の価格高騰対応で避けてほしいのは「質を落とす」
- 4.小麦を使用したメニューの値上げの許容は40円未満
- 5.値上げによって来店頻度は「減る」も印象が「変わらない」が最多
- 6.紛争などが理由の値上げは仕方がない

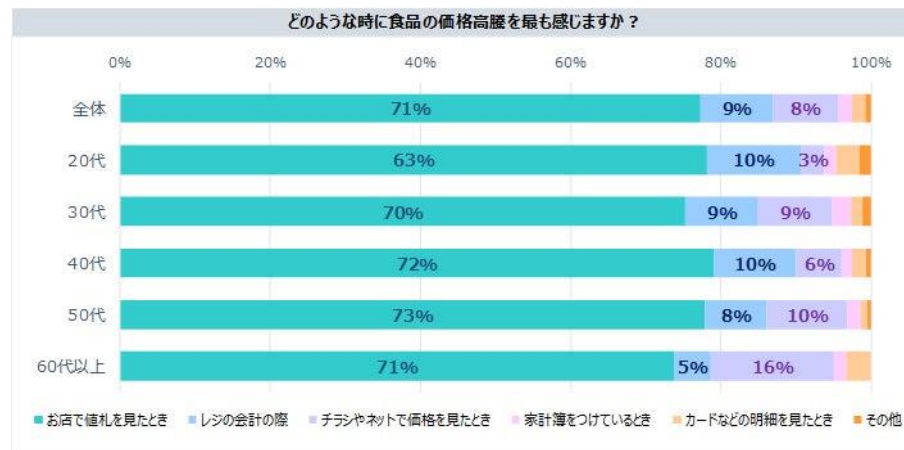
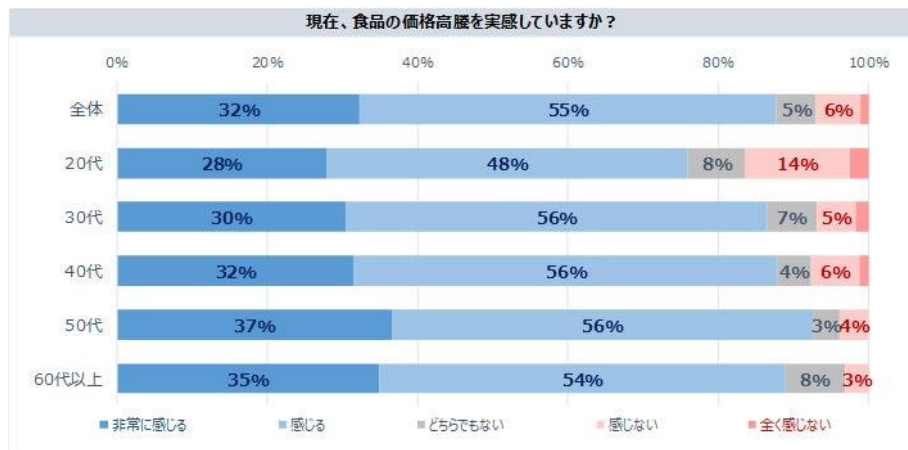
## 1.食品の価格高騰「困る」が 90%

食品の価格高騰について「困る」と感じている人は90 %と多くの方が不安を抱えています。



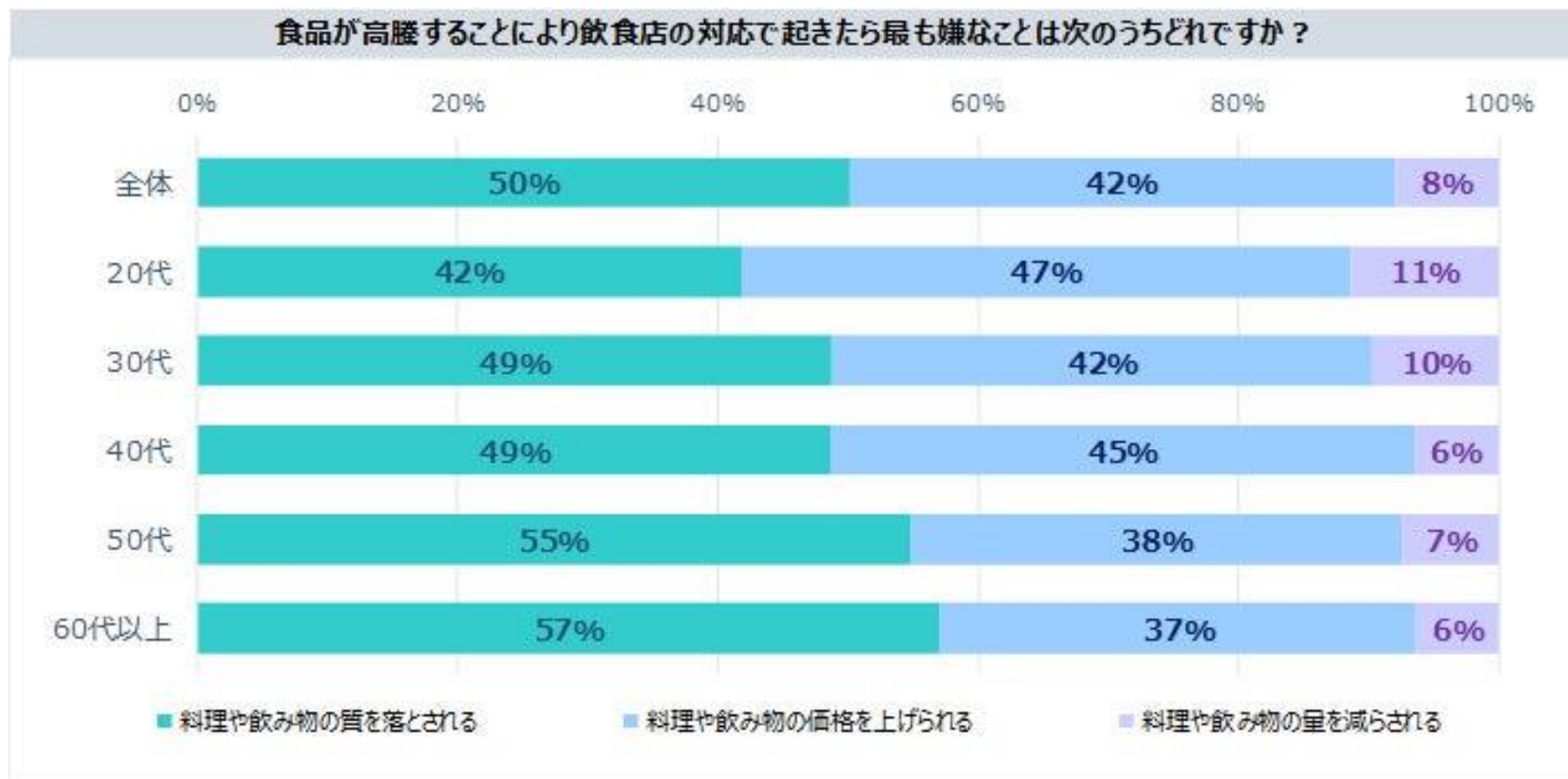
## 2. 価格の高騰を感じている人が87%。感じるシーンは「値段を店で見たとき」

76%の方が実際に価格高騰を「感じる」と回答しました。  
 半数以上の方がお店で価格を見た際に値上げを実感しているようです。



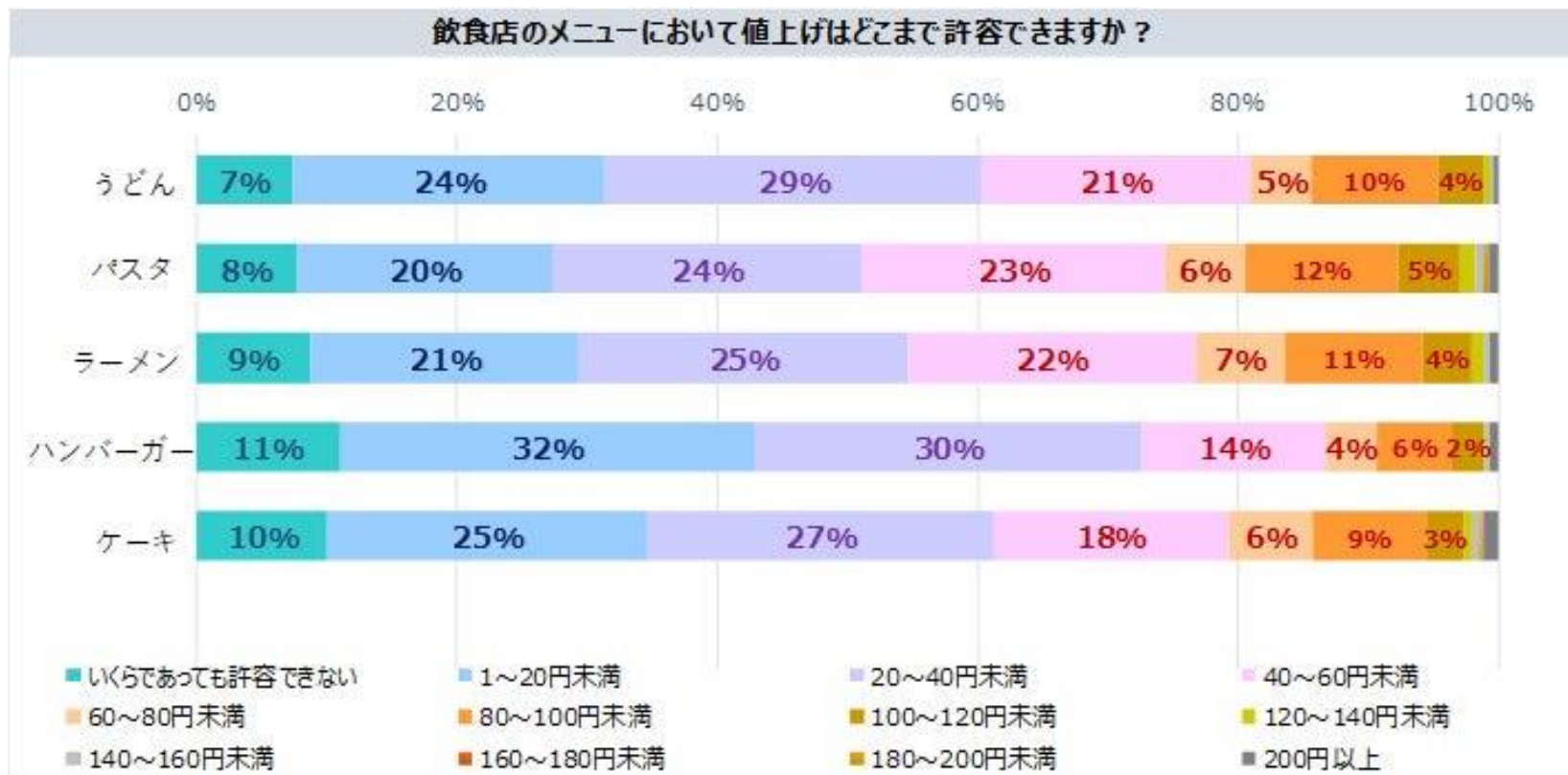
## 3. 飲食店の価格高騰対応で避けてほしいのは「質を落とす」

価格高騰による飲食店の対応で最も消費者が避けてほしいものは「質を落とす」で、50%の方が料理や飲み物などのクオリティは保ってほしいと感じています。



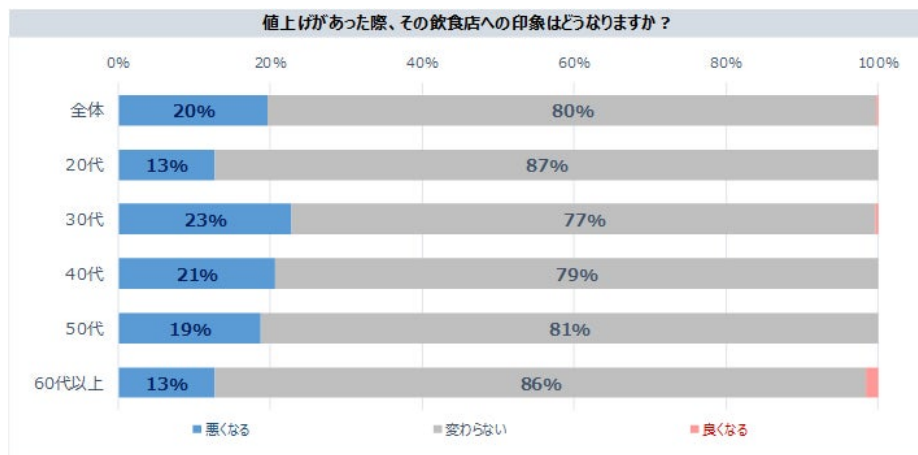
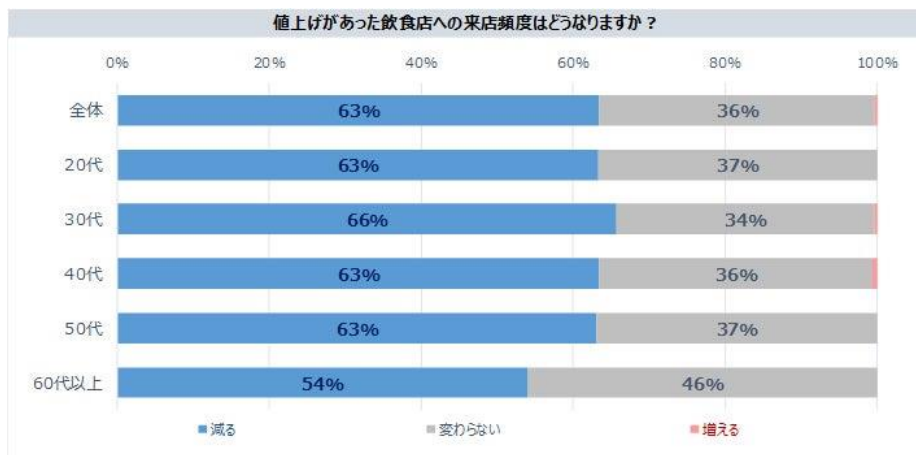
## 4.小麦を使用したメニューの値上げの許容は40円未満

小麦を使ったメニューにおいては40円未満まで、ハンバーガーについては20円未満が許容できる範囲だと最も選択され、麺類よりも厳しい目線となっています。



## 5. 値上げによって来店頻度は「減る」も印象が「変わらない」が最多

飲食店が値上げを行った際、利用頻度が「減る」と答えた人は64%と半数以上の結果となりましたが、その対策によって飲食店へのイメージが大きく損なわれることはないこともわかりました。



## 6.紛争などが理由の値上げは仕方がない

紛争などが理由である値上げに関して「許容できる」が46%、「どちらでもない」が28%でした。コメントでは「飲食店の大変さもわかる」「紛争地域ではもっと苦しい人もいる」などと、飲食店そして紛争地域を思いやるコメントも見られました。

